

## カトリック山手教会月報

## やまて



編集・発行 カトリック山手教会 広報委員会 〒231-8652 横浜市中区山手町44番地  
 ☎ (045) 641-0735 <http://catholicyamate.org/>

第596号 2019年6月9日

### ライモンド石渡洋行神学生 助祭叙階式

5月12日（日）山手教会聖堂にて、11時30分ミサの中でラファエル梅村昌弘司教主式による石渡洋行神学生の助祭叙階式が執り行われました。式典には、石渡神学生の出身教会である三浦海岸教会から全信徒40人のうち33人が参加しました。梅村司教は叙階式にあたり「助祭の務めは奉仕です。自分をむなしくすること、自分を無にすることが必要です」と話されました。そして、梅村司教による接手の後、三浦海岸教会主任司祭の田代和生師により石渡神学生にストラ（首から掛ける帯）とダルマチカ（祭服）が着せられ、叙階式は終了しました。東京カトリック神学院のモデラトル（養成者）で、副院長を務める稲川圭三師が祝辞を述べられ、三浦海岸教会の信徒代表から花束などが贈呈されました。助祭となった石渡神学生は「今後は奉仕者として歩んでいきます」と挨拶され、聖堂は拍手と大きな喜びで満たされました。式典終了後に教会ホールで行われた祝賀会には、三浦海岸教会や他の教会の信徒も参加して盛大な会となりました。石渡神学生にインタビューすると「山手教会の皆さまには、今回、大変お世話になりました。これからもよろしくお願いします」と話されました。

石渡洋行助祭、おめでとうございます。



自己奉獻の姿勢を示す



接手を受ける



ストラを着せて  
いただく



田代師にダルマチカを  
着せていただく